

南日本新聞 掲載

令和2年4月27日 (月)

消毒徹底、友達を守る

コロナ対策 志布志中生が電解水配布

志布志市の志布志中学校の生徒が、新型コロナウイルスの消毒用に使える次亜塩素酸電解水をペットボトルに詰め、全生徒約400

次亜塩素酸電解水入りのペットボトルを準備する中学生
|| 志布志市の志布志中学校



人に配った。「消毒を徹底し、友達を守りたい」と生徒自らがアイデアを出した。
3年生の田浦天衣さ

ん、福田聖奈さん、持留真幸さんと生徒会長の田原達太郎さんが発起人。市郵便局長会が電解水200リットルを準備

し、ペットボトルは地元のリサイクル業者が提供した。

電解水は田浦さんらが手作業で、500ミリのペットボトルに一本一本詰めた。ほかの生徒も協力し、ラベルを貼って遮光袋に入れて準備。休校前の21日に配った。

長元武彦校長(56)は「主体性、自主性があり、生徒自ら貢献しようという素晴らしい取り組み。感心する」と話した。田浦さんらは「これまではコロナ予防に対する意識が低かった。志布志に感染者が出ないように一人一人が意識して取り組みたい」と語った。
(永野雄一)